



仙台市立四郎丸小学校 校長室だより

至誠・四郎丸

平成20年 3月 3日(月)

雨水が過ぎ、降る雪もすぐにとけてしまい春の到来を感じる時節になりました。保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のことと存じます。過日、今年度最後の授業参観を行い、参観後にテレビ放送で今年度の教育活動について校長から保護者の皆様にご報告をいたしました。懇談会に参加できなかった方もいらっしやいますので、前回同様、校長室だより「至誠・四郎丸」を配布してご報告いたします。

*「至誠・四郎丸」とは、明治時代に四郎丸地区に開塾された塾の名称が「至誠塾舎」であることに由来して命名しました。学校と地域・保護者が一緒になって、子供のために「真の教育を行う」という願いを込めました。

2月28日 授業参観後の校長あいさつ

保護者の皆様、本日は今年度最後の授業参観・学級懇談会に足を運んでいただきありがとうございます。学級での懇談の前に、私から一言ごあいさつをさせていただきます。

今年度も残すところ1ヶ月となりました。皆様のご理解とご協力のお陰で、今年度の教育活動が順調に進み成果をあげ、無事に終わることができますことをまずご報告いたします。

12月の授業参観の折には、音楽朝会の様子や児童会行事、学力向上対策、安心・安全な学校づくり等について説明しました。今回は、学校給食、読み聞かせ、生活科・総合的な学習の時間への取り組み、保護者の学校評価、次年度の取り組みの中から特に学級編制、学習時間割、通学路についてお話をさせていただきます。

四郎丸小学校の学校給食は自校給食といって、栄養士さんが献立を立て学校で調理しています。地域の農家で育てた野菜や地域の豆腐屋さんが作った豆腐など新鮮な食材を使い、カロリーや食の進むものを作るように工夫しています。教育委員会の管理の下で確かな食材を使用していますので、ご安心ください。

栄養士さんの話ですと、洋食より和食(煮物やみそ汁)の食べ残しが見られるので、魚は骨まで食べられるようによく煮込んだり、子供が好むソースを魚にかけるなど工夫をしているとのこと。全般的に食べ残しが少なく、野菜はよく食べているとのこと。子供たちは、学級毎に1週間交代でランチルームで楽しい給食時間を過ごしています。

次は読み聞かせについてです。全校児童が1月に、地域の読み聞かせボランティア「あいあい」による本などの読み聞かせを体験しました。7人の方が来校し、絵本や物語、紙芝居、シアターなど学年に応じた読み聞かせをしてくださいました。どの学年もお話の世界に引き込まれ静かに聞き入っていました。来年度は、低学年は2回に回数を増やす予定です。



次に、1・2年生は生活科、3年生以上は総合的な学習の時間に取り組んでいることについて、活動の一端を紹介します。

まず1年生です。「高齢者との関わりを学ぶ」というねらいで、地域の敬老会の協力を得て、「むかしの遊び」を行いました。当日は、24名もの方が訪れて、折り紙、お手玉、羽子板、めんこ、竹馬などの昔の遊びを教えてくださいました。

2年生は、「お祭りランド」に取り組みました。これは、おもちゃを作り、作ったおもちゃで遊んでもらうお祭りをするために自分たちで計画を立て役割を分担して、1年生やお客さんを楽しませるものです。これまでのいろいろな学習の成果が現れる場にもなっています。

3年生は「大豆を育てよう」という学習に取り組みました。大豆を育てるための畑づくりや水やり、除草、収穫という過程の中で、自然や育てることに興味を持ったりする体験をしました。収穫した大豆をきな粉にしてきな粉もちを食べました。

4年生は「二分の一成人式」に取り組みました。その学習の成果は、今日の授業参観で披露した通りです。20歳の半分に当たる10歳の時点で、これまでの自分の生い立ちを確認したり、これからの自分の夢を考えたりします。4年生はお茶の会の方々からお茶の作法を教えてください、一人ずつ和菓子を食べ、その後、茶をいただきました。正座をして気持ちを引き締めていた姿がとても印象的でした。

5年生は、「わがまち仙台」の学習に取り組み、仙台の歴史や文化、自然など一人一人が関心のあることについて実際にグループ毎に調べたりしました。

6年生は、「見つめよう、自分と世界」というテーマで、地域、環境、歴史に関心を持ち、人と人との関わりに目を向けながらよりよい生活や生き方を学びました。この写真は、養護教諭の指導のもとに、自分が生まれたことの尊さを学習している場面です。

ひまわり学年は、学校や地域の自然に関心を持ち、進んで活動し生活に生かすことをねらいとして学習をしました。この場面は、1年生との節分交流をしている時のものです。

次に保護者の皆様からちょうだいしました学校評価アンケートについて、報告いたします。

皆様からのご意見は、教職員でよく目を通させていただきました。皆様からのご意見は、おおむね次のような対応をとらせていただきたいと思います。次年度の学校運営に生かせるものは生かします。改善する方向で努力します。学校の説明不足から誤解を生じているので、お答えします。この部分が多いように感じました。ご意見の通りには出来かねます。A4版6ページを使って詳細な分析を行いましたので、詳しくはおたよりをご覧ください。

次に来年度の学級編制についてです。当校では、平成18年度から全学年について毎年、クラス替えを行っています。その理由は、次のようなことからです。学級内での相対的な位置が固定しがちな傾向を改善する。一人一人の子供が持つ資質や能力を生かし、伸ばす。より多くの友達との触れ合いの中で人とのかかわりを学ばせる。つまり、子供の発達の変化に対



応した学級集団づくりを毎年行うということですので、これまで通りご理解の程をお願い致します。

次に来年度、変わることにについて説明します。

まず、時間割の1部が変わります。変えるに当たっては、授業時数の確保、学力向上、子供たちのゆとりある生活、高学年は特に教科担任制を行っていますので、担任とのふれ合いの時間を確保するなどの点から見直しました。

では、どのように変わるのか次に申し上げます。まず、これまで週3回行っていた朝のスキルタイムを1回に減らして、朝に「学級の時間」を設けました。この時間には、子供と担任が向き合い、健康観察をしたり子供たちの様子を把握したり、子供同士のふれあえる時間としました。2コマのスキルタイムを減らした代わりに授業時間として1時間を新たに設けました。

1・2年生は金曜日が4時間から5時間になります。3年生は火曜日が5時間から6時間になります。4年生以上は金曜日が5時間から6時間になります。また、4年生以上のクラブ活動は、月曜日が休日になることが多いこととクラブ活動の時数を2時間増やすために、月曜日から水曜日に変更します。水曜日は12月まで午後3時50分まで授業がありますので、ご注意ください。

次に通学路の一部追加についてです。学校の北側に行くには遠回りして東西の橋を渡っていましたが、この度、町内会やPTAのご尽力により、9ヶ村堀の橋・現在使われていない3つの橋のうち一番東端の4M橋が、4月1日から通学路、生活道として条件付きで渡れるようになります。1年間の試行期間があり、住民に迷惑をかけるような行為があった場合は使用できなくなりますのでご注意ください。関係児童の通学路の変更も必要になりますので、春休みに各家庭毎にお子さんと一緒に歩いて確認して下さい。詳しくは別紙のちらしをご覧ください。

次に、もうすぐ小学校を巣立つ6年生についてです。この1年間、最高学年として全校児童をひっぱり本当によくがんばりました。送別球技大会などを通して5年生との交流を深め、引継ぎもしっかり行いました。小学校の6年間のがんばりに拍手を送ります。中学校に進んでも自分の可能性を信じてたくましく育て欲しいと切に願っています。

最後にこの1年間、子供たちの安全や子供たちの夢の実現、保護者同士の親睦交流のためにそれぞれの立場で活動していただいた保護者・PTAの皆様には厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

保護者・地域の皆様のご支援を糧に次年度も子供たちのために、更なる教育活動を行っていきたいと思います。この1年間のご協力に感謝します。ありがとうございました。

では、この後は各学級で懇談を行い、今年1年間のお子さんの成長ぶりなどについて担任や保護者の皆様方でお話し合いをしてください。以上で、校長あいさつといたします。本日のご来校ありがとうございました。

